

学校だより 1月号



あけましておめでとうございます

本年もよろしく願いいたします

校長 柴田 雅之

今年もよく晴れた元日を迎え、初日の出とその光に照らされる富士山がよく見えました。令和7(2025)年が始まりました。今年巳年です。へびは、脱皮して成長していくことから「新しい自分に生まれ変わる」「幸せな未来をつかむ」という意味を持っているということです。きっと良い一年になることでしょう。

1月7日、子どもたちが登校してくる前日、出勤するため家から駅まで歩いていると、きれいな虹がかかっていました。しかも、二重になっていました。虹が見えると「幸運の兆し」とも言われています。新年早々、**虹色ちよがおか**にぴったりのスタートだととても嬉しくなりました。

8日に子どもたちを迎えると、「おはようございます」「あけましておめでとうございます」「あけおめ」「ことよろ」など元気な挨拶がたくさん聞かれました。例年より少し長めの冬休みでしたが、おいしいものを食べたり、お年玉をもらったり、お出かけをしたり、たくさん遊んだり充実したお休みを過ごしたことがうかがえました。全国的にインフルエンザが流行していることを心配していましたが、本校児童には流行している兆しは今のところはないようで安心しました。これからも、手洗い・換気・必要があればマスクをするなど予防に努めていきたいと思っています。

そして、朝会では、今年はどうなるのでしょうか？平和で幸せな良い年にしましょう、というお話をしました。私は、お正月に今年のことを考えているうちに、10年後、20年後、30年後の未来のことまで考えてしまいました。その頃は今小学生の千代っ子もすっかり大人になっています。どんな大人になっているのだろうと想像してみました。総理大臣になっている子がいるかもしれません。歌手・芸能人、スポーツ選手、宇宙飛行士、お医者さん、社長さん、音楽家、お店屋さん、ユーチューバー、学校の先生・・・そんな想像をしているととても楽しい気持ちになりました。子どもたちには夢を抱いて成長して行ってほしいと思います。そのために、今を大切にしてほしいというお話をしました。今すべきことを**深く考えて***行動に移すことが大切です。**「大好き千代ヶ丘 自分から〇〇のために やってみよう」**を今年も心がけてほしいと思います。たとえ失敗しても、そこから学び、乗り越え、成長していく**たくましい子***であってほしいと思います。また、人とのかかわりの中では**思いやりのある子***であってほしいと思います。 ***は学校教育目標**

保護者の皆様、地域の皆様には昨年も大変お世話になりました。中でも12月7日に行いました創立50周年記念式典では、子どもたちが一生懸命にお祝いする姿を保護者の皆様や大勢のご来賓の皆様に見ていただくことができました。子どもたちの頑張る姿にたくさんのお褒めの言葉をいただきありがとうございました。また、ともに記念事業を作り上げていくことができたことに感謝の気持ちでいっぱいです。4月からは51年目として新たな一歩を踏み出します。今後とも千代ヶ丘小学校を温かく見守り、ご理解ご支援よろしく願いいたします。

最後に、今年度も残すところあと約2か月半。子どもたちはしっかりとまとめをして、年度末には1年の成長を実感できることを願っています。とくに6年生は、小学校6年間のまとめとなります。今年1年間、千代ヶ丘小学校のリーダーとして頑張ってきたことに自信をもって、最後までかっこよく下級生の憧れとなるよう生活して行ってほしいと思います。ご家庭においても引き続きご協力をお願いいたします。